



群馬県立心臓血管センター

地域医療連携たより

No.

56

当センターは《地域医療支援病院》です。

群馬県立心臓血管センター

地域医療連携室

〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲 3-12

TEL:027-269-7455 (内線 2040・2043) / FAX:027-269-7286

URL: <http://www.cvc.pref.gunma.jp/>

目次

- ▶ 令和2年度群馬県立心臓血管センター症例検討会のご案内
- ▶ 副院長退官にあたって 前副院長 星崎 洋
- ▶ 副院長就任のご挨拶 副院長 有田 寛
- ▶ ミニレクチャー「放射線科外来症例の胸部画像診断」経時的変化の観察
第71回群馬県立心臓血管センター症例検討会ミニレクチャーより 放射線科部長 小山 恵子
- ▶ コメディカルコーナー《放射線課より/X線CT装置更新のお知らせ》
- ▶ 令和2年度新入職医師紹介
- ▶ 令和2年4月度外来担当表

ゴールデンウィーク期間中の 当センター外来診療について

ゴールデンウィーク[4/29(水)、5/2(土)～5/6(水)]の間は、通常の外来診療を休診とし、急患のみの対応となります。

令和2年度

群馬県立心臓血管センター

症例検討会のご案内

日本医師会生涯教育

【1.5単位】認定の検討会です

日程	内容	ミニレクチャー	症例検討	症例検討
9月頃予定	学術講演会	症例検討会・学術講演会ともに発表内容、開催時期につきましては、改めてご案内申し上げます。 症例検討会・学術講演会ともに会場は、 群馬県立心臓血管センター総合リハビリ棟 講堂 となります。		
11月頃予定	症例検討会			
1月頃予定	症例検討会			
2月頃予定	学術講演会			
3月頃予定	症例検討会			

会費
無料
です

ご多忙の中、平成31年度開催の症例検討会・学術講演会にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、昨年度末の一部症例検討会・学術講演会を中止させていただきました。それに伴い、登録医の先生方にご迷惑おかけしたことをお詫び申し上げます。本年度に関しましても適時状況を判断し、症例検討会の開催を検討していく方針です。開催が決まりましたら、改めてご案内をお送りさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

令和2年4月発行



副院長退官にあたって

前副院長：星崎 洋

外来診療日【火・金曜日】

※詳細は外来担当表を御覧ください

この度、令和2年3月31日で、副院長を退官いたしました。登録医の先生方には、病診連携や病病連携などで、大変お世話になりありがとうございました。

私は、平成元年12月に県立前橋病院に赴任し、国立高崎病院と家庭裁判所勤務を経て、平成4年6月から再び、前橋病院勤務になりました。その後、前橋病院は、県立循環器病センター、県立心臓血管センターと名称が変わり、循環器に特化した病院に進化・発展してまいりました。

平成8年からレジデント制度が始まり、私の業務は虚血性心疾患の診断と治療を中心にレジデントの先生方の初期教育と全体の取りまとめを主な業務とし、現在に至っております。当初は、当院で初めてカテーテルに触れるレジデントが多く、カテーテル検査のABC、更にはカテーテル治療の習得を目標に教育と指導をしてきました。循環器内科では、令和2年4月で総勢49名の卒業生がおり、現在では県内の主な基幹病院で活躍されており、うれしい限りです。

振り返ってみると、あっという間の時間でした。私が赴任した頃の前橋病院では夕方の6時頃に仕事をして

いると、看護師さんから、今日は当直ですか、大変ですね、と声をかけられていました。当時は夕方になると医師は帰宅していたようです。当時から救急依頼や急患対応に努力して来ましたが、成果が出るまでには時間を要しました。私の一番記憶している急患対応は、寒かったある土曜日のことです。午前の回診を済ませ帰宅すると、急性心筋梗塞の患者さんが搬送されるとの呼び出しがありました。直ぐに登院し、治療を済ませ、夕方に帰宅しましたが、直後に再び、急患搬送の連絡があり、直ちに登院して治療を行いました。その後、更に二人の急患があり、この日は朝まで急患対応に追われました。結局、総勢4名の急性心筋梗塞の患者さんが搬送され、私は病院と自宅を5往復しました。一緒に対応したレジデントの先生や看護師、放射線技師の方も大変だったと思いますが、忘れられない一日でした。

最近の低侵襲治療には目を見張るものがあります。カテーテルによる弁膜症や先天性心疾患の治療に始まり、虚血性心疾患では、アプローチ部位が橈骨動脈(手首)から遠位橈骨動脈(親指と人差し指の間)に変わりつつあります。鼠径部から大腿動脈を穿刺していたことは、過去の話になりつつあります。

平成30年4月からは医療安全管理室長として、安心安全な医療を提供するための方策を推進して来しました。医療者側が最良の医療を提供するための方策と考えています。

現在の心臓血管センターには、その歴史を踏まえて、患者中心の医療を行う理念と信念が芽生えていると思います。登録医の先生方に於かれましては、今後も宜しくご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



副院長就任のご挨拶

副院長：有田 覚

外来診療日【火・水・木曜日】

※詳細は外来担当表を御覧ください

このたび星崎前副院長の後任として副院長に就任しました整形外科の有田覚です。星崎先生がされていた医療安全を引き継がせていただきました。

当院の医療安全は平成16年4月に院内組織として医療安全の確保に組織横断的に取り組むため医療安全管理室が設置されて始まりました。当時の副院長の金子達夫先生が医療安全管理室長となられ専任のゼネラルリスクマネージャー（GRM）が配属されました。

初年度の年間報告数は1046件でした。その後の医療安全管理室の働きにより、小さなインシデントでも報告するという意識が浸透して報告数は右肩上がりに増

加して、平成29年度には2053件の報告となりました。それ以後の報告数は減少して令和元年度は1348件となりました。この減少は全レベルでの発生数が減少しているため職員の医療安全への認識が高まった結果インシデント自体が減少したものと考えます。しかしながら医師からの報告数は令和元年度は106件で当初より増加してはいますがGRMから催促されて報告するという例もまだまだ多く、医師の医療安全に対する意識（報告するという意識かもしれませんが）が低いのが実情です。

医療安全の範囲は医療機器・薬剤・医療放射線のほか感染予防・褥瘡予防・職員の健康管理と広範囲です。また、ゴールというものはありません。今後は職員に指差し呼称して確認することをさらに定着させてインシデントの発生を減らすことと、医師の医療安全制度に対する認識を高めることに力を注ぎ、先生方からご紹介いただいた患者様が安心して安全に当院で医療を受けていただけるよう努力して参る所存です。

今後とも宜しくお願いいたします。

「放射線科外来症例の胸部画像診断」 経時的变化の観察

≫ 放射線科部長 小山 恵子

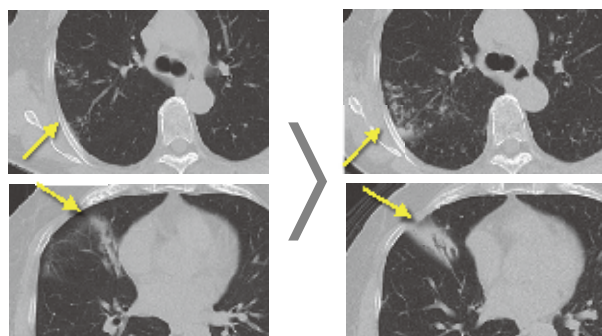
≫はじめに

放射線科外来の患者様には、長い経過を観察させていただく方を経験します。複数回の検査は、病変の経時的变化や進行速度を確認し、今後の治療方針の決定、経過中の注意点の予測に役立ちます。症例を提示します。

症例 1 非結核性抗酸菌症

小結節・気管支拡張型（中葉舌区型）

女性 66 歳（2016. 4 月）⇒ 70 歳（2019. 9 月）

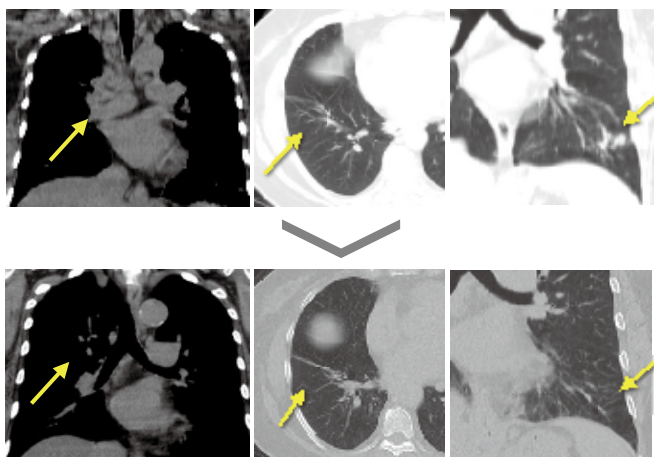


≫非結核性抗酸菌症

結核、らい菌以外の抗酸菌による感染症を包括した症候群です。症例 1 は小結節・気管支拡張型（中葉舌区型）に分類される、基礎疾患のない非喫煙者の中年女性に多く、治療しても完治は難しく緩徐に進行する特徴があるタイプです。病変は右側上葉に粒状影・結節影、右肺中葉に浸潤影と気管支拡張、壁肥厚を観察します。経時的に増悪しています。小葉中心性の小結節や粒状影、分岐状影（tree-in-bud appearance）が特徴的で、肉芽腫を反映して周囲との境界は明瞭となります。気管支拡張は円柱状の拡張で起始部から末梢まで連続性に認められます。

症例 2 肺サルコイドーシス

女性 58 歳（2009. 3 月）⇒ 68 歳（2019. 7 月）



≫サルコイドーシス

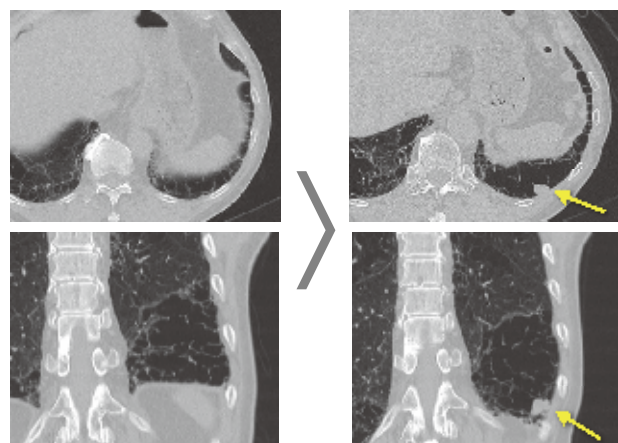
全身の諸臓器に非乾酪性類上皮肉芽を認める原因不明の肉芽性疾患です。臓器病変として肺の頻度が最も

高く、全症例の 90% 以上に認められています。

症例 2 は約 10 年の経過を見た肺サルコイドーシス症例です。縦隔・肺門部リンパ節、腋窩リンパ節の腫大は治療後縮小を維持しています。肺野病変は右肺下葉の間質性変化が右葉間胸膜肥厚と S8 に間質性変化として残存します。左肺底部の気管支周囲浸潤影は間質性変化しています。CT 上、リンパ節の特徴は均一で大きさの割に融合傾向が乏しいことです。肺野病変はリンパ路に沿った微細な粒状影ないし結節の分布、無数の微細粒状影が集合し、大結節として認めることがあり、sarcoid galaxy sign と呼ばれます。肺胞内に肉芽腫が充満すると pseudoalveolar sarcoidosis と呼ばれる浸潤影がみられます。慢性化すると線維化が起こり、線状・索状影や牽引性気管支拡張、収縮性変化が認められます。

症例 3 気腫合併肺線維症

男性 74 歳（2016. 7 月）⇒ 77 歳（2019. 12 月）



≫気腫合併肺線維症

2005 年に提唱された臨床画像的概念です。肺上葉優位に気腫性変化、下葉優位に線維化病変を観察し、肺気腫や慢性間質性肺炎のパターンは定義されていない症候群といえる病態です。肺がんの合併が高く、線維化が緩徐で臨床症状軽微な症例は経過観察から脱落し、進行がんが問題となることがあります。症例 3 は全体的に肺野気腫性変化が強く末梢に間質性変化を観察します。3 年後の CT で左肺底部胸膜下に大きさ $14 \times 7 \times 13 \text{mm}$ の結節を観察します。

≫最後に

胸部画像所見は非特異的な所見の組み合わせが多いですが、経時的变化を確認することで、診断、治療方針決定、今後の治療の留意点が明らかになります。御紹介いただいた患者様の画像を当院は 10 年以上保管しております。これらは定期的経過観察や検診精査時に比較読影され、結果報告書に生かされています。

放射線課より

X線 CT装置更新のお知らせ



当センターのCTをリニューアル致しましたので、ご紹介します！

放射線科 小山 恵子
放射線課 齋藤 和歩

令和2年1月20日より、キャノンメディカルシステムズ社製の最新CTである Aquilion ONE /PRISM Edition（アクイリオンワン/プリズム エディション）を導入致しました。Aquilion ONE

は、1回転で16cmの幅を撮影できる320列面検出器を搭載しており、少ない被ばく線量で高精細な画像を取得することができます。また、撮影時間の短縮化に伴い、撮影中の息止め時間が短くなるため、高齢の方でも安心して検査を受けて頂けます。従来のCTと比較し、特に優れた特徴は下記の通りです。

●心臓全体を1回転で撮影することが可能

従来の心臓CTは、検査時に不整脈のある患者様や、長い息止めが不可能な患者様は良い結果を得られないこともありました。Aquilion ONEでは、1心拍中の心臓が最も動きが止まるタイミングを狙って一度撮影をすれば心臓全体の画像が得られます。よって従来の問題はほぼ解消し、安定した検査結果を得ることが可能です。

●造影剤量の低減が可能

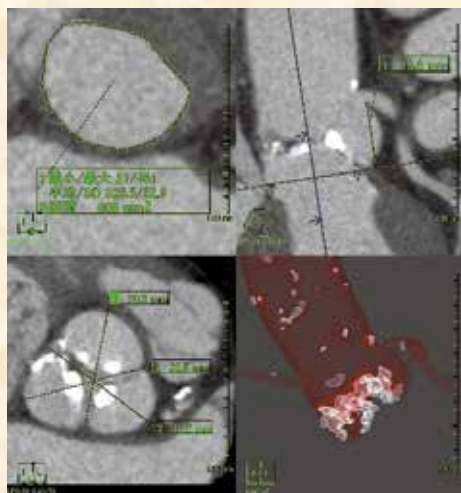
撮影方法や患者様の体格にもよりますが、従来のCTと比較して約35%程度の造影剤量の低減を実現しております。また、低管電圧による撮影を行うことにより造影効果を引き上げることも可能です。特に腎機能が悪い患者様などには、従来の約50～60%の造影剤を減量して検査を行うことも可能であり、患者様への負担軽減を図っています。

<画像診断から臨床治療への橋渡し>

撮像したCT画像は臨床アプリケーションで処理し、再構成画像として内科治療、外科治療に広く生かされています。

①TAVR (Transcatheter Aortic Valve Replacement)

症例：上行大動脈基部の動きの激しい部分で、弁の形状確認や弁輪径測定、Annulusから冠動脈入口部までの測定など術前評価に役立ちます。



②小切開(MIDCAB)症例：術者の視点から大血管、

心臓、肋骨、胸骨の位置関係が把握できます。近傍を走行する細かな血管の走行も確認でき、より安全な手技を可能にします。



令和二年度

新入職医師紹介

部長
循環器内科



ひと言コメント：
「桐生市の出身です。培った経験や技術を地域医療に役立てられるよう努めてまいります。」

たかぎ ゆうすけ
高木 祐介

卒業年：平成 17 年

医長
麻酔科



ひと言コメント：
「安全な麻酔管理を心がけています。皆様のお役に立てるよう、尽力します。」

すぎもと けんすけ
杉本 健輔

卒業年：平成 25 年

循環器内科
シニアレジデント



ひと言コメント：
「患者さんが安心できるような診療を心がけていきたいと思っています。よろしくお願いします。」

はらぐち ゆみこ
原口 裕美子

卒業年：平成 24 年

循環器内科
シニアレジデント



ひと言コメント：
「沖縄よりシニアレジデントとして赴任しました。勉強させてもらいながらも、少しでも地域に貢献できるよう頑張りたいと思います。」

きのした さとし
木下 聡

卒業年：平成 25 年

循環器内科
シニアレジデント



ひと言コメント：
「患者さん一人一人に親身になって診療を行ってまいります。よろしくお願いします。」

けみ ゆうた
毛見 勇太

卒業年：平成 25 年

循環器内科
シニアレジデント



ひと言コメント：
「大阪より参りました。群馬県の医療に少しでも貢献できればと思います。」

きむら こうき
木村 光輝

卒業年：平成 27 年

循環器内科
レジデント



ひと言コメント：
「患者さんのために丁寧な診療を行ってまいります。宜しくお願い申し上げます。」

なかじま たかふみ
中島 貴文

卒業年：平成 29 年

循環器内科
レジデント



ひと言コメント：
「患者さんに信頼していただけるよう、努力したいと思います。」

しばた さとる
柴田 悟

卒業年：平成 29 年

令和2年4月1日付けで、上記の8名の医師が新入職いたしました。
既に連携関係にてお世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。

令和2年度 退職医師

6名の医師が退官・退職いたしました。在職中、大変お世話になりました。

- 循環器内科(副院長)……………星崎 洋
- 循環器内科……………中出 泰輔
- 麻酔科……………坂本 崇

- 循環器内科(シニアレジデント)……………渡邊 真
- 循環器内科(シニアレジデント)……………井上 満穂
- 循環器内科(レジデント)……………天内 士郎

医師人事

【整形外科】有田 覚……医療局長》副院長
【心臓血管外科】江連 雅彦……心臓血管外科第一部長》
医療局長
心臓血管外科第一部長

【心臓血管外科】加賀 徹……シニアレジデント》医長

【心臓血管外科】金澤 祐太……技師》医長

【循環器内科】福士 朋子……レジデント》シニアレジデント

上記の通り人事異動がありました。今後ともよろしくお願いいたします。

群馬県立心臓血管センター 外来担当医一覧表

※業務都合等で変更となる場合がありますので、確認のうえ御連絡ください。

令和2年4月1日 現在

診療科			医師名		月	火	水	木	金	診療科		医師名		月	火	水	木	金
循環器内科	虚血性心疾患門	午	かわぐち れん 河 口 廉	●	●			●	心臓血管外科	午後	※受付12:30～ (急患を除く)	えづれ まさひこ 江 連 雅 彦		●	第1 除く	←9:00～		
			くりばら じゅん 栗 原 淳	●			第1,3					やまだ やすゆき 山 田 靖 之			第3 除く			
			や の ひでき 矢 野 秀 樹			第1,3 第5	第2,4					ほしの じょうじ 星 野 丈 二			●			
			たかぎ ゆうすけ 高 木 祐 介			第2,4	第1,3 第5					おかだ しゅういち 岡 田 修 一			第2 除く	←第1週のみ 10:00～		
			みやいし ゆうすけ 宮 石 裕 介		●			●				かねこ たつお 金 子 達 夫			●			
			おおしま しげる 大 島 茂			●	●					は せ が わ 長 谷 川 豊			第4 除く	第2,3 第4		
			ほしざき ひろし 星 崎 洋		●			●				おぎはら ひろし 荻 原 博			●		●	
			とやま たくじ 外 山 卓 二			第1,3 第4,5						すずき じゅんこ 鈴 木 純 子	●			●		
			きのした さとし 木 下 聡			第1,3 第5						すとう としなが 須 藤 利 永		●				
			さ さ き わたる 佐 々 木 渉				●					整形外科	午前	ありた さとる 有 田 寛	●		●	●
	ないとう しげと 内 藤 滋 人	●	●	●	●	●	すずき ひでき 鈴 木 秀 喜	●	●		●			●				
	なかむら こうき 中 村 紘 規				●		たけち るみ 武 智 瑠 美		●	●				●				
	み き ゆう こ 三 樹 祐 子	●					循環器内科(専門外来)	午前	あだち ひとし 安 達 仁					●				
	たけ 武 たけ 武			●					むらた まこと 村 田 誠						●			
	ごとう こうじ 後 藤 貢 士	●				●			やました えいじ 山 下 英 治	●								
	さ さ き たけひと 佐 々 木 健 人					●			やました えいじ 山 下 英 治		●					第2,4		
	きし しょうへい 岸 翔 平		●						あだち ひとし 安 達 仁					●				
	よしむら しんご 吉 村 真 吾					●	ペースメーカー	午後	お の ぜんべい 小 野 善 平									
	おかざき よしのり 岡 崎 善 則		●						ないとう しげと 内 藤 滋 人						第2	第2		
	あだち ひとし 安 達 仁	午後	●		●				み き ゆう こ 三 樹 祐 子					第3				
	むらた まこと 村 田 誠			●					うぶかた さとし 生 方 聡					第4				
	診療科		医師名	月	火	水			木	金								
	診療科		医師名	月	火	水	木	金										

1 受付時間は、午前8時30分～11時までです。
 なお、予約再来の方は午前8時15分から受付いたします。

【外来休診日】
 土曜、日曜、祝日
 年末年始(12/29～1/3)

2 紹介状持参の患者さんは、初診・再来にかかわらず、総合受付6番(地域医療連携窓口)で受付いたします。

3 当院は「紹介型外来」を行っており、紹介状持参の患者さんを優先して診療いたします。

地域医療連携室では、先生方から事前に患者情報を御連絡いただいたうえで、診察日時を予約いたします。下記の予約紹介専用電話、もしくはFAX用診察申込書またはFAX用検査予約申込書《MRI・CT・シンチグラム・骨密度(DXA法)》を御利用ください。

円滑に診療を進めるためにも、事前予約を御活用ください。

なお、午後5時以降、または休診日にお

送りいただいたFAXへの対応は、翌日または休診日明けとなります。
 あらかじめ、ご了承ください。

— — — — —

患者さんの待ち時間を少なくするために、御協力をお願いいたします。

予約紹介専用(連携担当直通) 電話:027-212-3018 / Fax:027-269-7286